

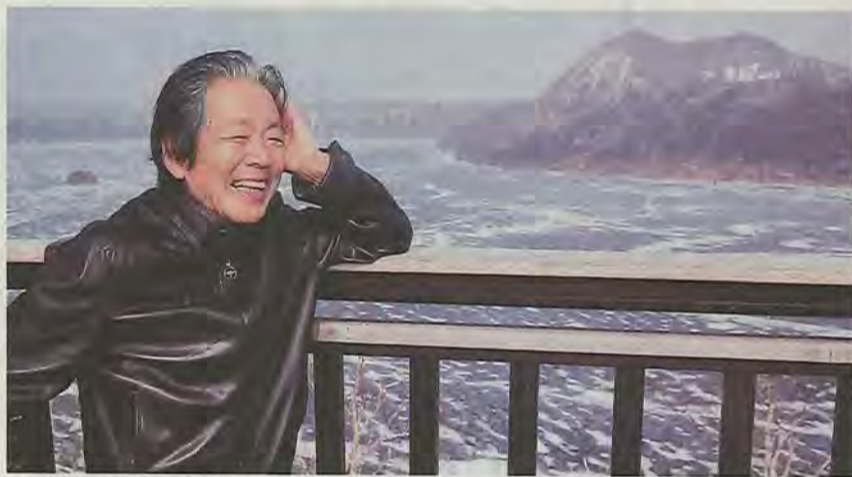
「北海道の歌」心に響け

1960年代後半に一世を風靡したグループサウンズ「ザ・タイガース」のドラマー瞳みのるさん(71)＝東京在住＝が、特別な縁のある北海道で、新たな音楽活動を展開しようとしている。当時、渡島管内八雲町に住んでいた女性の詞が基になったヒット曲「花の首飾り」など、北海道ゆかりの歌だけで構成するライブツアーを道内で開催する。芸能界を引退してから長年高校教師を務め、退職後に復帰して8年。いま、音楽の力で北海道を盛り上げ、良い歌を世界中の人に届けようという夢を描く。

ひと語り もの語り

3月下旬、瞳さんは釧路市出身で東京在住の友人に案内され、寒さの残る道東を訪れた。道内ツアーの構想を膨らませるためだ。ライブ用の曲の一つは布施明さんの「霧の摩周湖」。釧路管内弟子屈町の摩周湖展望台に到着すると、湖面が波打つように凍結した風景に「こんな姿もあつたんだ」とつぶやいた。

ザ・タイガース 瞳さん



湖面が凍った摩周湖を背に北海道ライブへの構想を語る瞳みのるさん＝3月29日、摩周湖第1展望台(小松巧撮影)

演の途中や生徒の修学旅行の引率で何度も見ていた。かつての印象は「神秘的で風光明媚」。今回、年を重ねた音楽家として訪れ「雪と氷の色彩に心が慰められた。『霧の摩周湖』を失念から立ち直る新たなイメージで歌えよう」と語る。

瞳さんは2010年から、2人の地元などに出向いて消息を探し、13年には2人とそれぞれ対面を果たした。これを機に八雲町と交流が生まれ、現在、同町と道の観光大使を務める。「この2曲も北海道の歌としてアピールしたい」

高校3年の時、遊び仲間だった沢田研一さんと5人でタイガースを結成し、ドラムを担当した。67年にデビューしたが、わずか4年後に解散。芸能界を去った後は猛勉強の末、25歳で慶応大へ入学し、中国文学や漢詩を研究した。卒業後慶応義塾高(横浜市)の漢文と中国語の教師となり、33年間、教壇に立った。

14年からは新しく「瞳みのる&二十世紀バンド」を組み、国内のほか中国や台湾でも公演。「音楽は時代と国境を越える」をテーマに欧米、日本、中国などのポップスを英語、日本語、中国語で歌う。欧米からアジアへの一方通行だった音楽を、逆にアジアから発信することが目標だ。

「知床旅情」「網走番外地」「北の旅人」など計25曲は、どれも親しみのある往年の名曲ばかりだ。郷土の歌があることをもって道民に誇りに思っている。にぎわいを失いつつある道内のまちおこしに音楽で多少なりとも貢献できればと話す。

瞳さんは2010年から、2人の地元などに出向いて消息を探し、13年には2人とそれぞれ対面を果たした。これを機に八雲町と交流が生まれ、現在、同町と道の観光大使を務める。「この2曲も北海道の歌としてアピールしたい」

転機は08年。中国・北京滞在中に見た中国映画の中で、ある日本の唱歌が中国語で歌われていたのを聞いた。この歌の原曲は19世紀の米国音楽。「心に響く旋律は、言語や国籍を問わず世界中に広がる。自分も良い音楽を次世代に残すことに携わりたい」と、音楽活動への思いが再燃した。同じく

北海道、アジアへと広がるステージ。「歌は人の気持ちをかき立てる。良い歌を世界中に届け、世界中の人と一緒に歌い、共感したい」と

花の首飾り、霧の摩周湖…道内ツアー計画

不妊治療で誤った処置をし女性を死亡させたとして、福岡県警が業務上過失致死の疑いで北九州市の「セントマザー産婦人科医

する例は珍しい。捜査関係者によると、2016年11月、卵管の詰まり具合などを確認するため、30代女性に全身麻酔をした上で空気を送り込む手術をしていたところ容体が急変。別の病院へ搬送されたが、同12月に死亡した。当時の担当医師が戻って

多量に送った空気の一部分が血管に入って肺などに詰まり、死亡させた疑いが持たれている。県警は、手術に立ち会った別の医師と、院長も監督義務違反などに問えるかと判断した。担当医師は誤りを認めており、県警は検察に起訴を求め、「厳重処分」の意向を示している。

ウチの「がんき」 (4549) 新田 朋子

今週も張り切ってますー

珍しく朝から元気がね

今週も張り切ってますー

休みはカレンダー通りなの

3連休のあと2日間出勤して4連休

私の休みの間は2日間